

JRが想定している大深度地下においても亜炭採掘跡が存在するのではないですか。

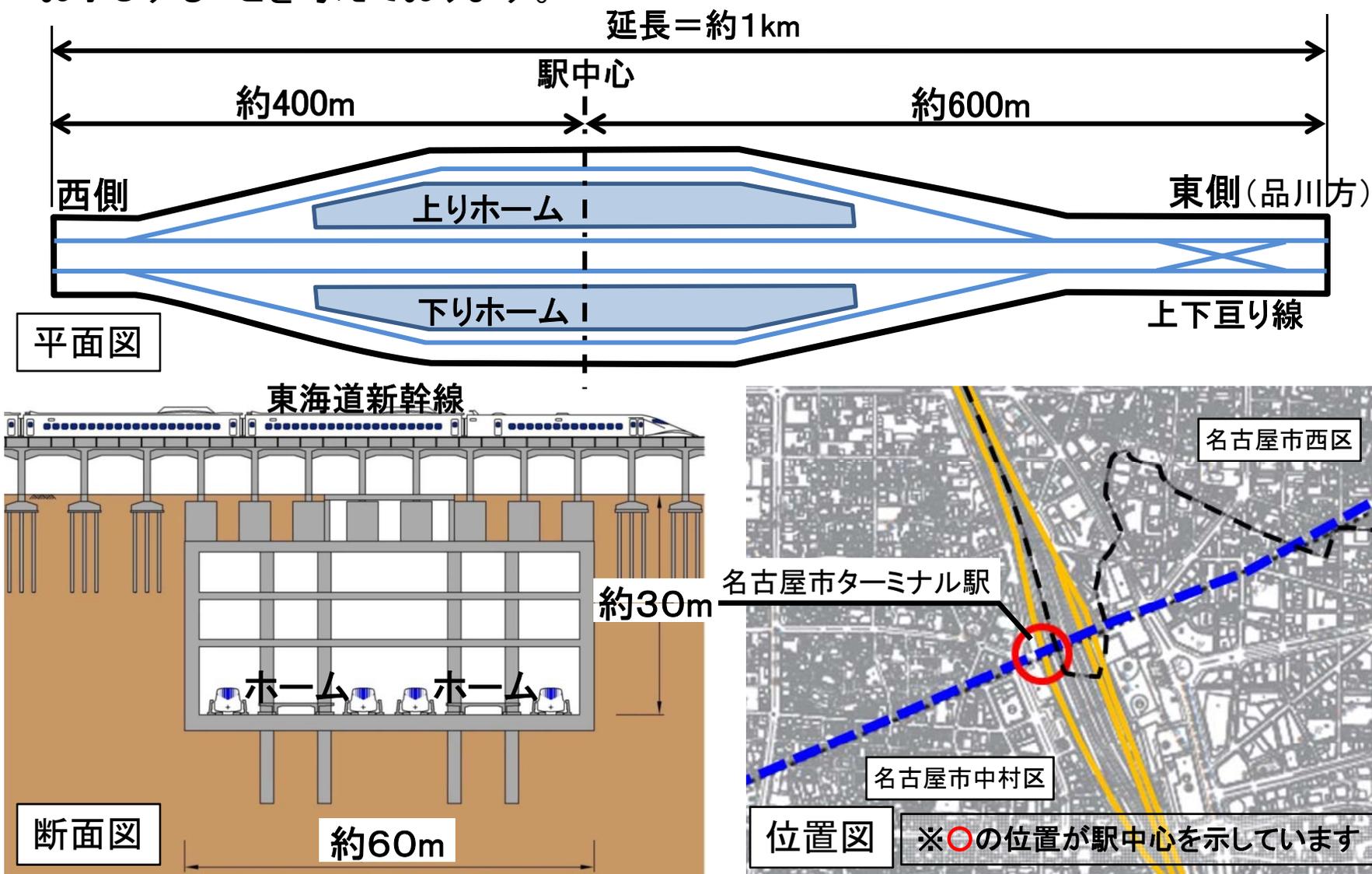
- 春日井市東部の亜炭採掘跡においては、路線は大深度地下トンネルとなり、既往文献調査などにより想定される採掘跡の空洞の深さよりも深いところを通過すると考えます。
- さらに、トンネル工事実施前には綿密な空洞調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じることから、地盤沈下の影響はないと予測します。
- なお、詳細な記録や資料などをお持ちの場合は、参考とさせていただきますので、環境保全事務所(愛知)までご連絡をお願いいたします。

工事は夜間行われるのですか。

- 作業時間は、地上部の工事は主として昼間、トンネル工事や地下駅の工事は昼間および夜間の施工を考えております。

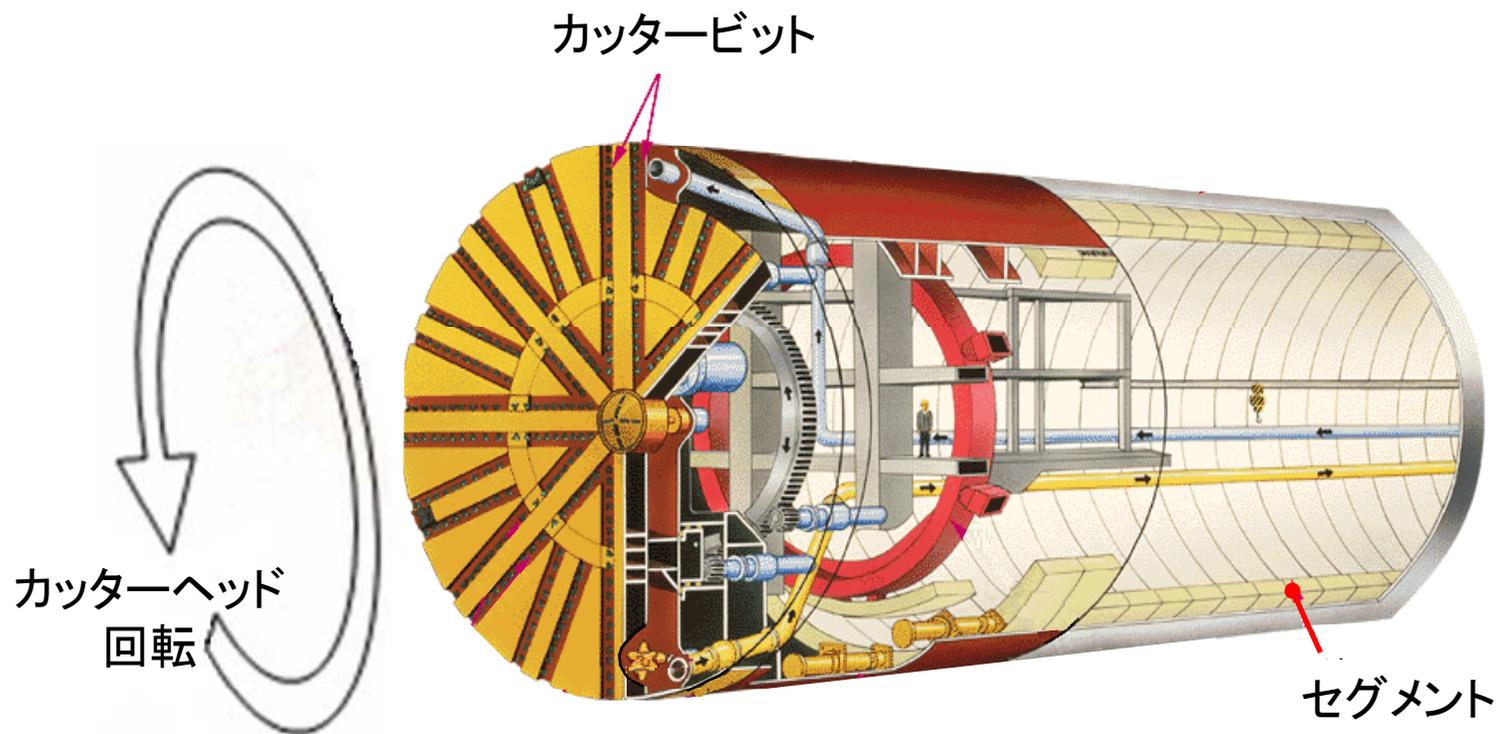
## 名古屋駅周辺の開削工事の範囲を教えてください。

- 地下に計画する名古屋市ターミナル駅は、以下の平面及び断面で計画しています。
- 全国新幹線鉄道整備法に基づく工事実施計画認可後、計画が固まった段階で詳細をお示しすることを考えております。



シールドトンネル工事による地表への影響はないのですか。

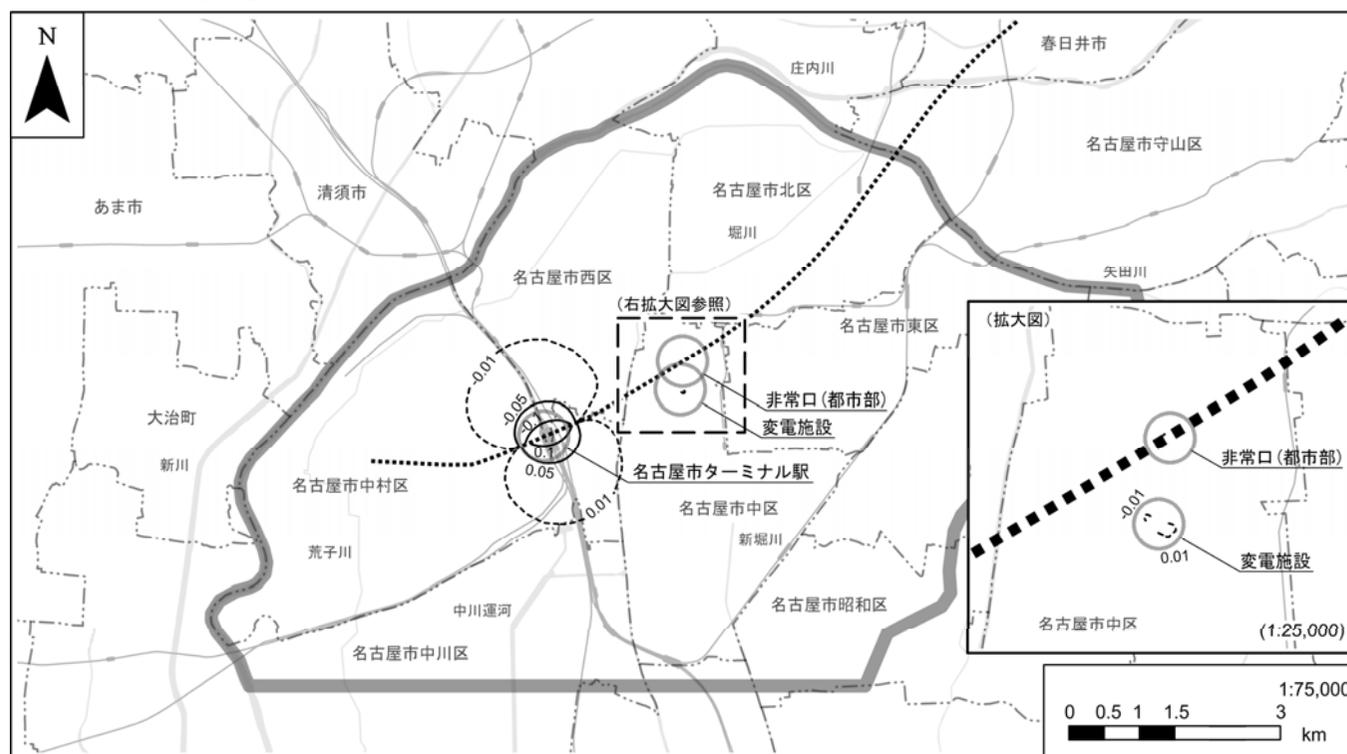
- 数多くの実績があるシールド工法は鋼製の筒(シールド機)に守られる中をカッターがゆっくり回転し、土を削りながら掘り進める方法であり、騒音・振動は非常に小さいものとなります。
- シールドトンネルについては数多くの実績がありますが、騒音・振動については環境影響評価の対象としておりません。また本事業においては、既存の施工事例(地下鉄桜通線等)よりも更に深い箇所計画しており、影響はほとんどありません。



シールド機の概要

## シールドトンネルによる地下水への影響はないのですか。

- シールドトンネルの工事及び存在に伴う地下水の水位への影響は、裏込め注入材とセグメント継手部止水シート材等を適切に用いることから、漏水が生じることはほとんどなく、地下水の水位低下の影響は小さいと予測します。
- また、シールドトンネルの標準的な断面の直径が約13m程度であり、これまでの文献及び地質調査から想定される帯水層の広がりに対して小さいことから、その影響は小さいと予測します。
- 非常口等の工事及び存在に伴う地下水への影響については三次元浸透流解析により予測を行い、影響が小さいことを確認しています。



名古屋市内的における三次元浸透流解析結果